

5 キャッシュ・フロー計算書について

本市下水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

(単位:千円)

	令和4年度	令和3年度	増減額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	707,958	765,067	△ 57,109
減価償却費	3,932,951	3,817,807	115,144
退職給付引当金の増減額(△は減少)	23,500	15,720	7,780
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 1,056	△ 657	△ 399
貸倒引当金の増減額(△は減少)	92	△ 2,383	2,475
長期前受金戻入額	△ 2,189,789	△ 2,116,640	△ 73,149
支払利息及び企業債取扱諸費	761,639	789,240	△ 27,601
固定資産除却損	20,354	33,480	△ 13,126
固定資産売却損	—	27	△ 27
未収金の増減額(△は増加)	706,676	△ 777,829	1,484,505
貯蔵品の増減額(△は増加)	△ 329	△ 2,300	1,971
未払金の増減額(△は減少)	△ 2,222	△ 45,525	43,303
預り金の増減額(△は減少)	△ 5,657	7,060	△ 12,717
小 計	3,954,117	2,483,067	1,471,050
支払利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 761,639	△ 789,240	27,601
業務活動によるキャッシュ・フロー	3,192,478	1,693,827	1,498,651
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 8,525,343	△ 7,033,485	△ 1,491,858
有形固定資産の売却による収入	—	25	△ 25
国庫補助金等による収入	3,696,101	2,527,668	1,168,433
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,829,242	△ 4,505,792	△ 323,450
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
一時借入れによる収入	2,700,000	1,400,000	1,300,000
一時借入金の返済による支出	△ 2,700,000	△ 1,400,000	△ 1,300,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,104,500	1,759,500	△ 655,000
その他の企業債による収入	179,400	195,800	△ 16,400
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 3,177,845	△ 3,258,338	80,493
その他の企業債の償還による支出	△ 535,406	△ 535,808	402
企業債前借による収入	3,747,100	3,302,100	445,000
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金による収入	—	500,000	△ 500,000
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金の返済による支出	—	△ 500,000	500,000
他会計からの繰入による収入	501,703	501,569	134
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,819,452	1,964,823	△ 145,371
資金増加額 (又は減少額)	182,688	△ 847,142	1,029,830
資金期首残高	1,860,723	2,707,865	△ 847,142
資金期末残高	2,043,411	1,860,723	182,688

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、3つの活動区分におけるキャッシュフロー（CF）で表される。

資金期末残高は、前年度に比べて1億8,268万8千円増加し、20億4,341万1千円となった。

投資活動のための資金が本来の業務活動による資金に対して不足するので、財務活動による資金で調達している。